

第5回大腸癌治療ガイドライン改訂委員会議事録

日時：平成21年7月2日(木) 10時～11時

場所：大宮ソニックシティビル 9F 904

出席者：【委員】味岡洋一、板橋道朗、伊藤芳紀、上野秀樹、楠正人、固武健二郎、島田安博、高橋慶一、田中信治、富田尚裕、濱口哲弥、肥田侯矢(坂井義治代理)、渡邊聡明【協力者】井上靖浩、【オブザーバー】杉原健一、望月英隆、森 崇、【事務局】石黒めぐみ、(記録) 松井孝至 (五十音順、敬称略)

【まとめ】

- A) 第4回委員会(平成21年1月)議事録確認
- B) 報告事項
 - ① 『大腸癌治療ガイドライン医師用2009年版』
 - ② 改訂作業経過(2009年1月～)
 - ③ 平成21年度平田班、若尾班研究
- C) 討議事項
 - ① NCCNガイドライン日本語版の監修とコメント作成
 - ② 簇出の周知法について
 - ③ ホームページの改訂
 - ④ ガイドラインの英訳版作成
 - ⑤ 2009年版の評価
 - ⑥ 次期改訂に向けて
- D) その他

.....

A) 第4回委員会議事録を確認した。

B) 報告事項

- ① 『大腸癌治療ガイドライン医師用2009年版』が明日(2009年7月3日)発売の運びとなった。
- ② 前回委員会以降の改訂作業の経過を報告した。
- ③ 平成21年度も以下の研究班に参加する：厚生科学研究費補助金第三次対がん総合戦略研究事業 若尾班分担研究「がん診療あるいは治療ガイドラインの公益性を目的とした公開のための体制作りに関する研究」(平田小班)平成21年度厚生労

働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）「がん診療ガイドラインの作成と公開の維持およびその在り方に関する研究」（平田班）

C) 討議事項

- ① 先端医療振興財団(TRI)から”NCCN clinical practice guidelines in oncology 日本語版”の監訳とコメントの作成を依頼された。
- ② 2009年版に収載された「簇出」の定義と評価法について、大腸癌研究会ホームページに掲載して周知を図る。
- ③ 大腸癌研究会、日本癌治療学会、Minds のホームページに掲載しているガイドラインの更新を行う。
- ④ 2009年版英訳版作成には第2次委員会も協力すること。
- ⑤ ガイドライン評価のために、①外部評価の受審、②アンケート調査の実施を計画する。
- ⑥ 次期委員会(第3次委員会)について
杉原会長から、第3次委員会委員長に渡邊聡明先生、副委員長に島田安博先生・板橋道朗先生が委任された。4年を目処に改訂第3版(2013年版)を刊行する。
- ⑦ その他
 - ・ ガイドラインに英文名 “JSCCR Guidelines 2009 for the Treatment of Colorectal Cancer” を表記する。第2刷で対応する。
 - ・ 本日を以て、第3次委員会へ業務を引き継いだ。今後、minor revision を含む改訂作業は第3次委員会が担うが、第2次委員会も①NCCN ガイドライン日本語版の監修とコメント作成、②構造化抄録作成(日本癌治療学会)、③ガイドライン英訳版作成等の業務に協力してゆく。第2次委員会のメーリングリストはこれらの業務が完了した後に閉鎖する。
 - ・

文責 固武健二郎